

# 第1回栃木県環境審議会（書面開催） 意見聴取結果

主な意見内容
環境問題の対策の難しさは、時間軸まで考慮しなければならない点にある。次期計画の項目については長期的な視点で選定する必要がある。
各施策のターゲットを具体化することで、各主体に自覚を促せるのではないか。
次期計画では新型コロナウイルス感染症への向き合い方について、少し触れるべきかもしれない。
基本目標の「低炭素化社会を実現する「とちぎ」」について、温室効果ガスの排出削減だけでなく、カーボン・ニュートラルやカーボン・オフセットの考え方や、植林・森林保護・クリーンエネルギー事業による削減活動によって「他の場所」で直接的、間接的に吸収しようとする考え方・活動を組み入れる必要がある。
施策の「資源循環の推進」では、具体的なリサイクルの流れを示し、その上で県の各事業を記載すべきではないか。
林業においても、IT、IoT活用を明記し、次世代型の林業を取り入れるべきではないか。
環境学習のさらなる推進を期待する。